

第4回敦賀市総合計画審議会 意見概要

日時：令和2年7月15日10時～

場所：消防庁舎3階 消防講堂

戦略1 健康福祉分野

- ・介護を受ける人のための政策を考えるだけでなく、介護をお願いする側の人に向けたメッセージが必要ではないか
- ・介護の実務的な量の負担を減らすために、健康寿命の延伸が重要
- ・一人暮らしの高齢者への支援も必要

戦略2 教育文化分野

- ・人道の港のエピソードなどの敦賀市の歴史を現在にどのように活かしていくか
- ・高等教育機関（大学）の取扱いどうするのか
- ・小中学生に敦賀の歴史に興味を持たせるために授業を工夫する必要がある
- ・小中学校の勉強は学年毎に単発になっているので、各学年を通じてつながりのある授業で敦賀の歴史を教えるほうがよい
- ・敦賀の良さを若い人たちにも自信をもって発信できるようになってほしい

戦略3 産業観光分野

- ・観光客を集めるという視点ではなく、自主的に集まるという視点が必要
- ・絶対価値として敦賀市独自のものをアピールしていくとよい
- ・企業と市民、学生の交流の場を作ったらよい
- ・敦賀の企業に就職した方向けの研修センターがあるとよい
- ・WEB戦略が重要。各団体がイベントを主催しているが、情報が伝わらないと人は来てくれない。市民も観光客もその日に敦賀で何をやっているのか全く見えない
- ・商店街の情報やイベント情報を吸い上げて、市民や観光客が集約して見られるサイト等があるとよい
- ・市内量販店と大型ショッピングモールが連携して、市内に大型ショッピングモール誘致すると新幹線開通後の受け皿になる
- ・地盤産業の強化に合わせて情報発信の強化が必要
- ・大型ショッピングモールが来た時に共存できる強い商店街づくりが必要
- ・他県にもあるような大型ショッピングモールを誘致しても、他県に出た学生は戻ってこない
- ・大型ショッピングモールがあればいいのではなく、流行に合わせた商品を扱う専門店街があればよく、商店街に個別に専門店が入っていれば若い人の需要は満たせる

戦略4 都市基盤分野

- ・敦賀に情報拠点といった形で5Gを導入するなど、大容量で高速な回線を設けることで、敦賀に住みながら都市圏での仕事を可能にするなど、都市基盤の整備も必要ではないか
- ・インバウンドで人を呼ぶなら交通の利便性を高める必要がある
- ・高齢化が進む中で、免許返納を促すためにも交通インフラの充実が必要